



大企画

恒久世界宗教者平和会議センター

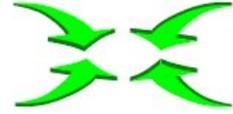


*The World-Wide Center of Studies and Permanent  
Meeting of the Religions for Peace*





**RE.PAX - RELIGION PAX**  
**INTERNATIONAL ASSOCIATION**  
ONLUS



## 我々の思想

「何の古い罪のない後代が信教と相互尊敬と共に諸国と諸宗教の科学と芸術と音楽と歴史と伝統と宗教を研究して、愛を込めて後世にこの知識を与えて、対話、友好関係、一視同仁と容赦が出来るようになり、恨みを静められる、憎しみを消される、人間関係が安全できるようになります；人命はこそ貴い命である。」

## 会長

ニコリノ・タミリア先生

## 招待

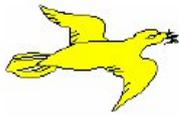
この手紙で三年間以来現職の我々のRE. PAX-Religion Pax  
と言う協会  
が、我々の憲章の目的に従って、恒久世界宗教者平和会議センターを結成する  
ために、2005年07月28日に国際非営利団体として創立されたのをお知らせします。

## 目的:

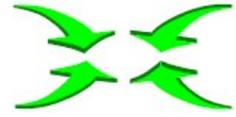
- 1。貧困の地位に置ける共同社会に人道支援を上げる。
- 2。人口の身分と民度を高める。
- 3。諸宗教間の対話と相互理解を奨励する。
- 4。大学程度の研究センターを創立する。
- 5。人道支援センターを創造する。
- 6。信仰の場所を組み立てる
- 7。会議を行い、テレビ・ラジオ放送局とウェブサイトと図書館と博物館を組み立てる。
- 8。無料の食堂とマルチメディア家宅を組み立てて、経営する。

はっきりと言えば重要な目標は平和と人道支援です。

我々の”平和”の定義は次のようです：



**RE.PAX - RELIGION PAX**  
**INTERNATIONAL ASSOCIATION**  
**ONLUS**



「何の古い罪のない後代が信教と相互尊敬と共に諸国と諸宗教の科学と芸術と音楽と歴史と伝統と宗教を研究して、愛を込めて後世にこの知識を与えて、対話、友好関係、一視同仁と容赦が出来るようになり、恨みを静められる、憎しみを消される、人間関係が安全できるようになります；人命はこそ貴い命である。」

添付書類はセンターの歴史、および会見とこの世界で唯一の企画の記述を説明します。  
この企画はその文化的な道徳的な兵站てきな意味のおかげで、現代の世界の進化で  
必要なものとなります。

ご意見を存じておきたいので、ご貴意であれば、貴殿の積極的な実際的な協力の栄を賜る  
ようお願いします、この協力は企画内か、即ち加入の注文で、企画外か、即ちその進化を追うための意図の文章で、どちらでも重要な教授助を上げます。

現に“第一回異宗教間REPAX会議”が準備されています。

お返事お待ちいたします。敬具。

教皇がユダヤ人と回教徒で：「平和の勇気が見つかる」とおっしゃる。

ローマ・ヨハン・パウルス二世教皇はエリオ・トアッフ・ラビとローマ回教寺院のイマーム・ゴマーとのあいだ腰掛けて、ユダヤ人とキリスト人と回教徒に平和の勇気が見つかるとお頼みになさって、お互いにたすけて、一神説の信者の間に誠意のある和解を必要であるからさし迫ったのになりました。世界を血で汚すと悩む暴力、戦争、テロリズムを打ち勝つようにこれまでに必要なことに道になりました。.....カール・ヴォイチワ教皇がお願いしました1986年にアーシジ市で平和のために会議を行いました。

仕舞いに、和解コンサートの作者あるかたは、「教皇庁のキリスト人教会の一性ために会議」の会長によってヴァルテル・カスペル枢機卿「平和、シャロム、サラム」とおっしゃった言葉はヴァチカン会場で再び鳴りました。ヨハン・パウルス・教皇はユダヤ人とキリスト教徒と回教徒間の関係歴史が「光と影で印をつけた、残念にヨハン・パウルス二世教皇は「神に平和贈物を請わなければなりません。和解の道を休息なずに通過すれば、この平和は柔らかくした油の同じように広がりましょう。それで砂漠は公明が統治をして庭になって、公明の結果は平和でしょう。オムニア・ヴィンシツ・アモル!」とおっしゃって、”愛はすべてに打ち勝つ”の意味です。

R e l i g i o n P A X  
国際団体  
(R E . P A X)

会長  
ニコリノ・タミリア教授学士

ローマ 20/04/2005  
教皇聖下  
ベネディクト十六世へ  
ヴァチカン市国

教皇聖下、  
尊名を聞いて喜びました、遠からず聖下は私のことに謁見を仰せつけられると  
期待を寄せます。

ヴォイティワ教皇より着想を下さって三年以上発達した重要な企画は  
2003年11月に行われた異宗教者会議への招待からこの話題のことの  
次第を御存じでいらっしやいます。

それ故この企画の文書を再び送るたびに幸せの感じがわきます、この手紙の言  
葉は神を信じられない者に言い出しにくい、聞きにくい、実現し得ないとなり  
ます。

基本原理は2002年01月24日に強い信仰および熱心な祈りと長続き  
世界平和の望みから暗示されていまして：その度にヴォイティワ教皇は十二  
宗教の代表者と一生に暴力を止まる及び一視同仁と平和に人類を育て上げる  
のために祈りました。

この儀式は、峠を越して、大謙遜を以って、質素なテントで行われました。

添付書類は恒久世界宗教者平和会議センターの歴史と記述をつきます。

上記の企画は次の官権と教権に頼っています：アンジェロ・ソダノ枢機卿聖下、  
マイコル・フィーズジェラルド大司教殿下、ポール・ジョセフ・コルデス司  
教殿下、カミーロ・ルイニ枢機卿、最高のイタリアの官庁とも、アゼリオ・チ  
ャンピ共和国大統領、シルヴィオ・ベルルスコニ内閣総理大臣、  
マルチェーロ・ペラ上院議会議長、ピエル・フェルディナンド・カシニ下院議  
会議長、ロマノ・プロディ閣下、ヴァルテル・ヴェルトロニ・ローマ市長、ピエ  
ロ・マッラッツォ・ラシオ州長、リッカルド・ディ・セグニ・ラビ長、大回教寺

院のイマーム・アブデラー・レドゥアネ学士。

各宗教への別の企画のコピーが発送し途中でございます。

来会合は05月09日に催されて、その後は世界比営利団体R e l i g i o n  
P a x（略R E . P A X）06月06日に創立します。

教皇聖下の祝福、忠告、支援を伺います。わたしに信仰の力のみでございます。

ありがとうございます、

ニコリノ・タミリア

国務省  
第一部 総務局

国務省はニコリノ・タミリア学士に敬具伝えて、  
文書が定期的にお見えになりましたと感謝して  
万事がうまく行くことを貴殿のために祈ります。

ヴァチカン市国より、2005年05月31日

”マテル・ヴィテ・エテウ・ヴェリタス” 協会

ノコリノ・タミリア教授学士へ  
R e l i g i o n P a x 会長  
イメリオ広場、67  
00165 ローマ

ローマ、処女マリアの心の祭日に  
日付：2005年06月04日

教授および親友、

翌年より、友情と関心を込めて、貴殿の恒久世界宗教者平和会議センターの企画の進行を追います。親ヴォイティワ教皇の多いイニシアチブに基づく企画はニューヨークのツインタワー・テロ攻撃後もっとも大役となりました。ベネディクト十六世教皇が思い出させたごとく相互対話および自分の文化と素性によってこの企画の実現に手伝ってと嬉しいです。ヨーロッパ文明を創立した護教論教父の同気をもって現代人類を手伝えられるようになります。心からの評価得た企画のためにお祈りをなさいます。

クリシティアン・マリー・チャルロット教授神父

内閣総理副大臣      ローマ      2004年01月07日

優しくこの恒久世界宗教者平和会議センターの企画を分割すると感謝します。  
写真資料は設計のプラスチックモデルの景色を示して、企画の意味や感激を証明します。

企画の気高い意図を尊敬し、懇て実現できるとお願ひします。

敬具

ジャンフランコ・フィニ

ローマのユダヤ人社会  
ラビ長

ローマ 10シヴァン5763年  
2003年06月10日  
住所：テヴェレ川

岸の道チェンチ

電話： 06-6

8400651-2

ファックス： 06-6

8400655

ニコリノ・タミリア教授へ  
イメリオ広場 67  
00165 ローマ

親友教授、

恒久世界宗教者平和会議センターの企画を検討しました。

この面白い企画は支援と激励を受けるに足ります。

ある点は異宗教の代表者から必ず再検討されなければなりません（例えば：所  
の名前、表象と聖像の使用、など）  
、とにかく中央のアイデアは助成すべきです。

その故あなたの成功を祈っています。

ラ  
ビ長

(リッ

カルド・ディ・セグニ学士)

イタリアの回教文化センター

Prot. 145/03  
3年09月12日

ローマ、200

ニコリノ・タミリア教授  
会長  
Religion Pax  
イメリオ広場、67  
00165 ローマ

ファックス 06 66040400

親教授へ、

イタリアの回教文化センターは恒久世界宗教者平和会議センター上の添付書類を検討し、  
企画を尊重し、その発起人を感謝します。

国際情勢の点を考え、平和を守る気高いばかりでわなく、必要もなりました。

イタリアの回教文化センター、唯一の共和国大統領から公認の回教財団、そんなに重要な企画が  
実現されると喜んでいきます。

敬具

アブデーラリ・レドウア

ネ学士

事務総長

## 企画の歴史

「恒久世界宗教者平和会議センター」を創立するの思考は2002年01月23日に生まれました。その日教皇が平和のために大切な世界宗教代表者の会議を出席にアッシジ市に参りました。

会議が01月24日にきめられて、アッシジ大聖堂前にきれいな歴史的な広場の真中には心に管状の骨組みから支えたプラスチック製の格納庫熱が建築されていました。

その中に12宗教の代表者と共に平和のために議論したり祈ったりしました。

世界のラジオとテレビと新聞は会議を語っていました。

深い精神性のある議式から、示し合わせて行動して、暴力を打ち勝つの強い意思が現れたのです。次の点が我々の目的です：

1. 我々は暴力とテロリズムが本格的な宗教精神を反対すると考え、神か宗教の名において戦争と暴力に訴えることを難じて、出来るだけテロリズムの原因を絶やすと約束します。
2. 我々は異宗教と文化と人種の人口の間に平和的な共存を達成するために人間の相互尊敬を発起するつもりです。
3. 我々は実の平和があらわれるに、相互理解と信用を発展するに對話の文化を発起するつもりです。
4. 我々は、その人の文化的な類にかなって、威厳のある生存が記本的人権であるとのことを弁護します。
5. 我々は、がまんと真心を込めて、異見を乗り越えられない城門として判断しないで、対話するつもりです。
6. 我々は相互の今昔の先入と間違いを許して、自己本位と横暴、憎しみと暴力を消すのために努力に相互支持して、公義のなし平和が本格的な平和ではないことを覚えてつもりです。
7. 我々は投票権のない人に投票権を備えて、誰でも見捨てた場合に幸せが得ないと考え、窮民と見捨てられた人々を支えるつもりです。
8. 我々は暴力と悪にあきらめられない人々の声を聞いて、力一杯現代の人類に平和と公義の実現の希望を与えるつもりです。
9. 我々は人民の間に強い合意ではないなら工芸進歩が世界を破壊しちゃうと思ってからそれぞれの人民間親善のため発議を一所懸命に支えるつもりです。
10. 我々は国内と国際程度に公明に基づいて団結と平和の世界を建築するために全ての

国家主席 が一所懸命に努力することを頼むつもりです。

あらゆる手段を講じて平和を支援の共同の勧告を聞いて、私にはプラスチック製の格納庫の代わりに、相互尊敬の象徴を以って、皆様に受け入れられる集合場所及び神殿が必要であったと考えていました。

この第一歩後は教育の所が連結しべく文化的な宗教的な人道てきな大学は、則ち最高学府、千年の歴史で満期になった至大な覚え知らせる、守る、伝えるの役割が有ります。

最後に国際連合のように円形テーブルまわりに平和を現実的な対話のテーマして世界宗教者平和協会(Re.Co.Pax)を建築するつもりです。

総合にこれは我々が企画で、世界で唯一の種類が安全に難しくても無理でわなない実現できることです。

唯一の目的は： 平和です。

共に祈って集まって教皇と諸宗教の代表者を望んだ平和です。  
全世界で放送したイメージがいつまでもわすられません。

連続的な勧告で、皆様の有効な寄与を目的します。寄与は大経済的な価値があるも大道德的な価値があります。

平和を求めるのことは国際規模に国際連合の役割で、諸宗教も自分の協会での役割が求めることです。

これは「平和宗教評協会」Re.Co.Paxで、唯一つの「恒久世界宗教者平和会議センター」で会議が行うべきです。

世界中の一番強力な五つの国体米国と英国とフランスとドイツと中国は国際連合を創造した、それで全世界の国体が固執をしました。

同じに一番大切な三つの一神論の宗教はキリスト教、回教徒、ユダヤ教は最初に概則を決めるのために公開討論会を創立しが卒先できる、他の諸宗教は出席すると思っ、人類の絶滅と虐殺の遠因として異見を片付けられるようになります。

そのセンター以上には相互尊敬するの祈り所を加えて青年に伝統を伝承するように文化の所を加えています。

企画には三つの大切な本部があります：

- \* 「平和神社」の中に「平和泉」まわりにいくらか小さい神社がある。相互尊敬して祈り神聖な所。
- \* 「宗教道主義研究」大学、青年が平和のために教育して、自分の民族と文化と宗教を尊敬するために。
- \* 「平和宮殿」、「平和宗教協会」**Re.Co.Pax**の本部、全ての問題が平和に議論して解決するようにしています。

企画は拡大再生産で180 x 320の非常に巧みに形作った量に関してプラスチックモデルの上に投影された、その素晴らしい外観をほめそやす。プラスチックモデルの写真と叙述はヴァチカンとその他の大切な設立へ意見を得るに送りました。教皇庁の諸高官は、自分の念願を表明して、強い関心を示しました。

マテル・ヴィテ・ヴェリタティス協会の会長は宗教歴史を伝えると青年を教育ことの特に文化的な重大さを目立たせました。

「ローマ回教徒文化センター」は、共和国大統領から公認の回教財団、同見があって、全企画を検討した後、私に団結と激励の手紙を送りました。

2003年06月にリッカルド・ディ・セグニ・ラビ長学士は、企画を肯定的に論評して、表象の使用を所見て、会議に代表者としてチェサレ・モスカティ・ラビを任命し、後続の重要な意見を吐きました。

他の重要人物は承諾を表せました。

承諾から強化された2003年12月11日に第一回紹介会議を召集した、翌月に諸宗教の代表者と共に後続の会議と会合が行われた、この結果は憲章の目的によって「**RE.PAX - RELIGION PAX**」と呼ばれた国際非営利協会を創立することです。

「大教皇」と呼ばれたヨハン・パウルス教皇の死を悼んで、心の温かさと深い宗教的な感状で有名、人類の歴史を化した「平和纏め役」、協会は熱心に、教皇聖下の敬礼と記念に、作業に取り掛けてつもりです。

恒久世界宗教者平和会議センターは諸宗教の信仰者に唯一の基準点になると思って、代表者を通して自分の文化と信仰と伝統を表さえて、それで完全に全くお互い様敬して経済的な社会の宗教のあいだ問題を議論して解決するの目標があるでしょう。

ニコリノ・タミリア教授

計画の描写:「恒久世界宗教者平和会議センター」

プラスチックモデルに投影された「恒久世界宗教者平和会議センター」の計画の思考は、平な土地と離れた丘の景色で釣り合っている、記号言語に恵まれた、広大な面積が役割に適当なので、建策の予告編が必要とすることから切っ掛けをつかんでいます。

センターの構成要素は次のとおりです：

- \* 「平和神殿」の真中に小さな神社をとりまゝ「平和泉」。
- \* 「宗教と人道主義の学問」大学。
- \* 「平和宮殿」、世界宗教者平和会議の本部（略RE.CO.PAX.）。

この架設は唯一の建築の仕組みの機能の部分で、理想的に異宗教間の対話に関して問題に立ち向かうのために初めての接触の徴象し、それなしには本当の平和によって対話が不可欠の条件であることです。

「異宗教間の文化的連絡」の象徴的場所として、平和神殿とその真中の平和泉はシステムの中で、諸世界宗教の連絡場所を代表するのです。そこには粗互尊敬に平和と一視同仁への全員一致祈りのために大勢の信仰者が集まれます。

平和泉の真中に泉が湧き出る水からぬらされた数の諸宗教の象徴がある三角形のプラットフォームがあります。

水は清める、活気を与える、安心させる原素で、全ての人類に自然的な不可欠の財産の基本徴象で、生活と  
と連結と将来の希望を代表します、同時に水槽の円形は我々が粗互理解で生けられる全世界を代表します。

西東軸の水道は大学の公場を通して、平和神殿に入って、直接に平和泉と世界宗教者平和会議の本部をつなぎます。

水道から泉の公場と会議の本部を結び屋根付きの高架橋を支える手形の非対称の物体が浮かんでいます。

水道と高架橋は人類の道を代表すると思って、元から（泉）、研究（大学）と勉強（図書館）及び  
交易と交通（平和宮殿）を通して、対話（平和宗教会の本部RE.CO.PAX）に至る。

大会場則ち平和宗教会の本部（略RE.CO.PAX）は円形で、外の建物からをはずれて、水流域の周囲の余地を離れて、高架橋のみから入り込まれて、俗務からnの分離を象徴します。

この平和宗教会場は落ち着いた建設的な比較の場所で、警戒心と差違を結びつ

けてように神学的の水準が類似点を持ってできる限り、自分の宗教の信仰間に関して平和を発起したり催促したりして、隣人愛が追求して強固になるためのことです。

宗教と人道主義の学問大学の建物は公園を取り巻いて、その公園に玄関を通してが入られるこのです。

その場所は広くても修道院のモデルに基付いて、それぞれの熟考と落ち着いた出会い独特の場所、小さく保護された中の余地があります。

公園の二つの側に置いて大学の建物は理想的に平和泉の地点に交差します。

この建物にくしの形の外へ配列された学室は連絡されています。

二つの高架橋は大学の二つの建物の本体と東部分の平和宮殿に置いて大図書館及び学長の地位を結び、

学長の地位は東へ向かって建物の無台の袖の役割します。

平和宮殿は二つの薄板状の中央部に集まって反对方へ曲げた要素で形成されて、その中央部

に公益事業の本体があります。

この大きな建物は北南の軸によって斜めに位置をさせています。

大学に向かって薄板の本体は紙の文書とマルチメディアの図書館、校長の地位と事務局を含有します。

会議会場に向かって薄板の本体は諸宗教の代表部、開催地の公共施設を含有します。

ある横道は二つの薄板の本体が分離することの地区の地下に通じて、設定と回収の中央本体を渡って、

、その本体に直角的に水道上の高架橋差し込んで、車が大学と会議会場の施設に近付くことを許す。

恒久世界宗教者平和会議センターの組み立ての基本幾何形は三角と円です。

実際に全体の構造は三角形で、大規模に、平和泉の三角形的な台に対照法の役します。

その諸宗教を象徴した台、及び水槽と小さい神殿は平和宗教会のように円形に内接させています。

円形の水槽の上にある小さい各神殿には各宗教の聖具一式と徴象が入って、自分の伝統を見せるために

皆様に入場権があって、同時に、信仰と人類を尊敬して、人道支援と宗教てきな知識を知らせることになります。

世界の全くお互い様敬を表現された大構造では各宗教の参加するのほしいように小神社を増さえていましています。

発明者：ニコリノ・タミリア教授

建築家：ヴィルジニー・ビジャウイ学士

平和神殿  
平和泉

建築家：パオロ・デル・キアロ教授  
カルロ・トラロンゴ学士

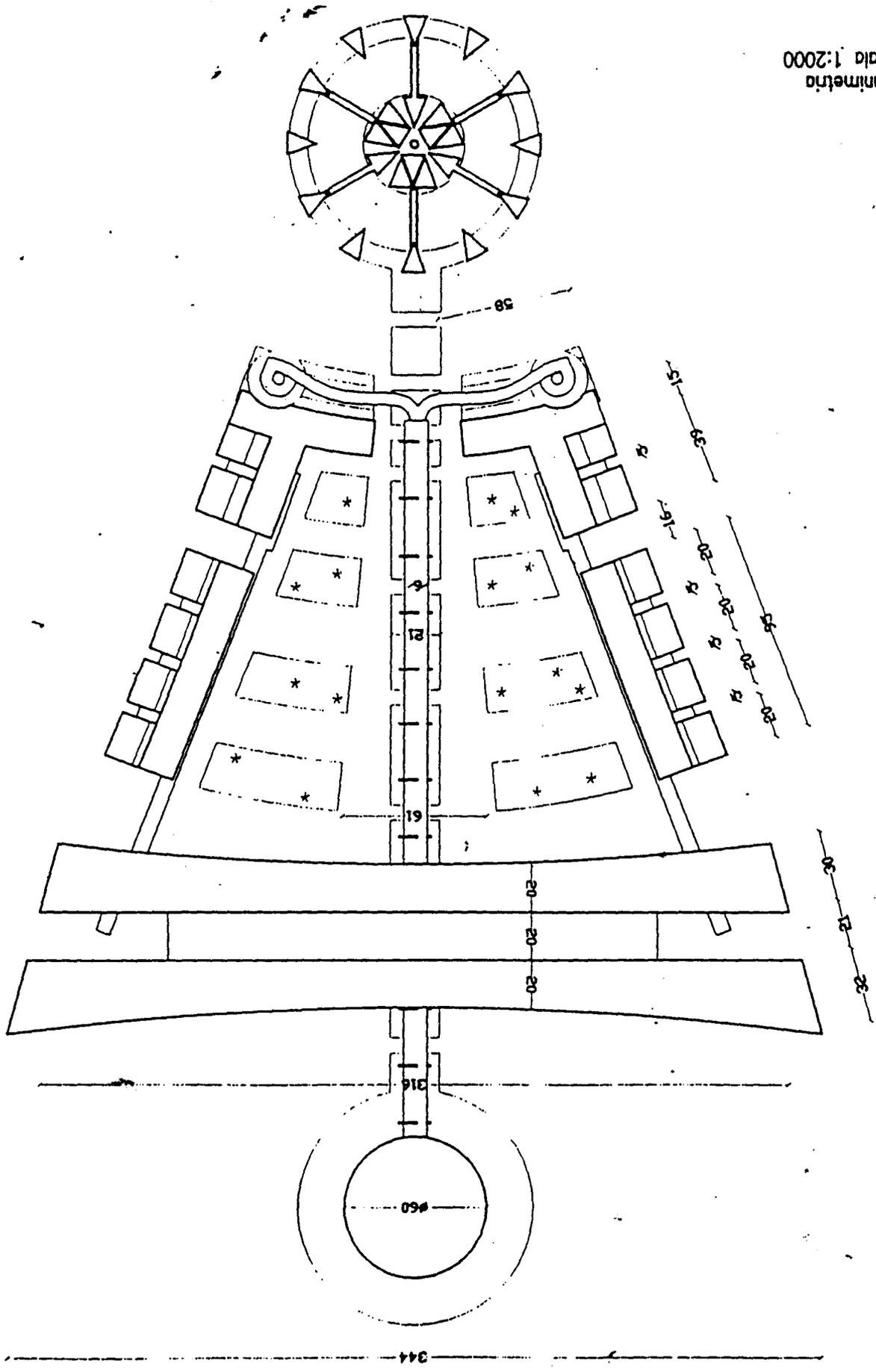
大学  
平和宮殿  
平和宗教会

企画家：ピエロ・サンティニ土地測量投師  
モデル

量に関してプラスチック

2002年05月

Planimetria  
Scala 1:2000



幾何学的な形の分解。

各宗教の表象を以って泉に浸された台。

( d a S i k h i s m o i n s e n s o r a r i o )

シーク教

ジャイナ教

儒教

神道

ギリシア正教会

天理教

教会の公会議

イスラム教

仏教

ヘブライ宗教

古東方教会

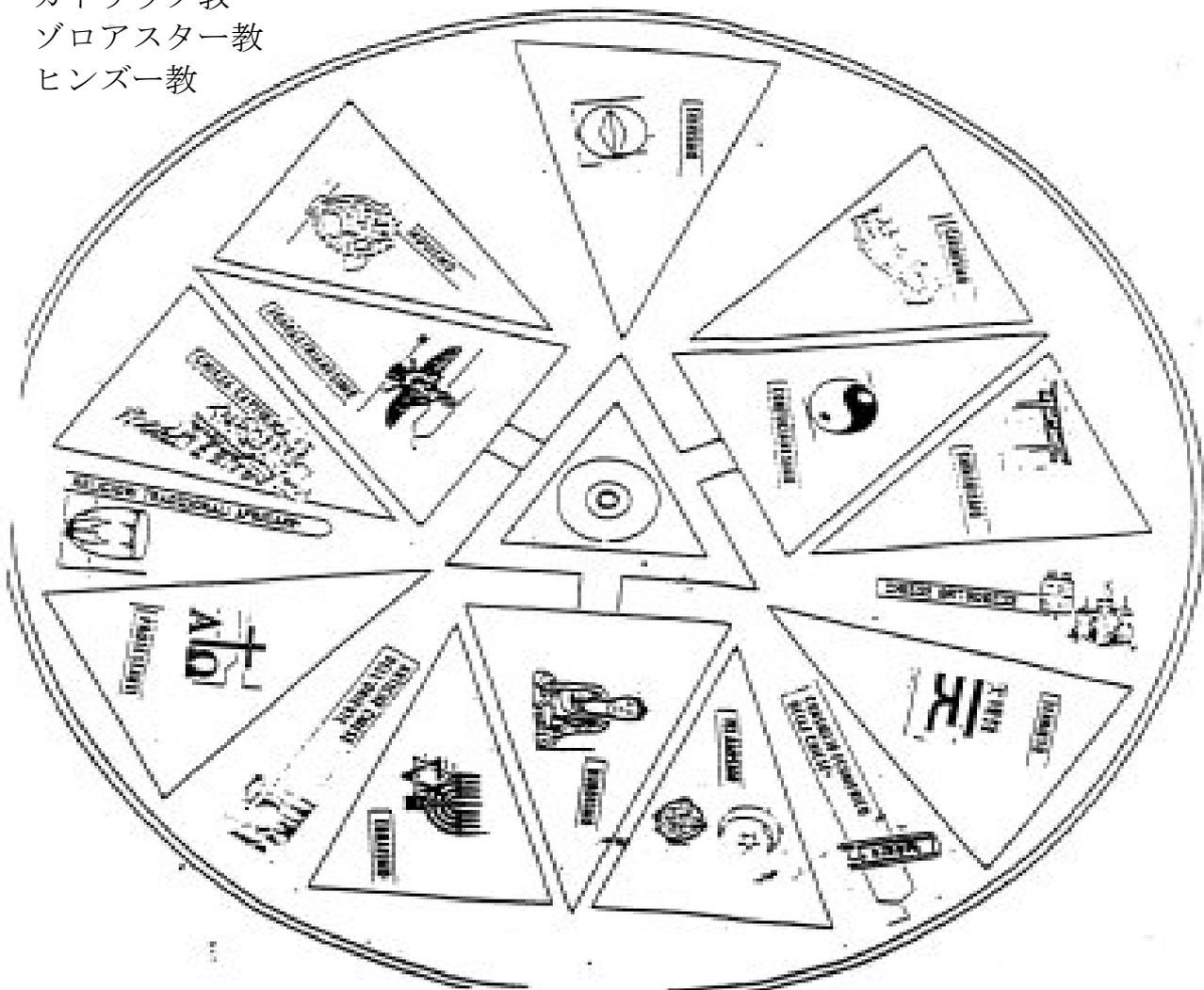
プロテスタント教会

アフリカの伝統的な宗教

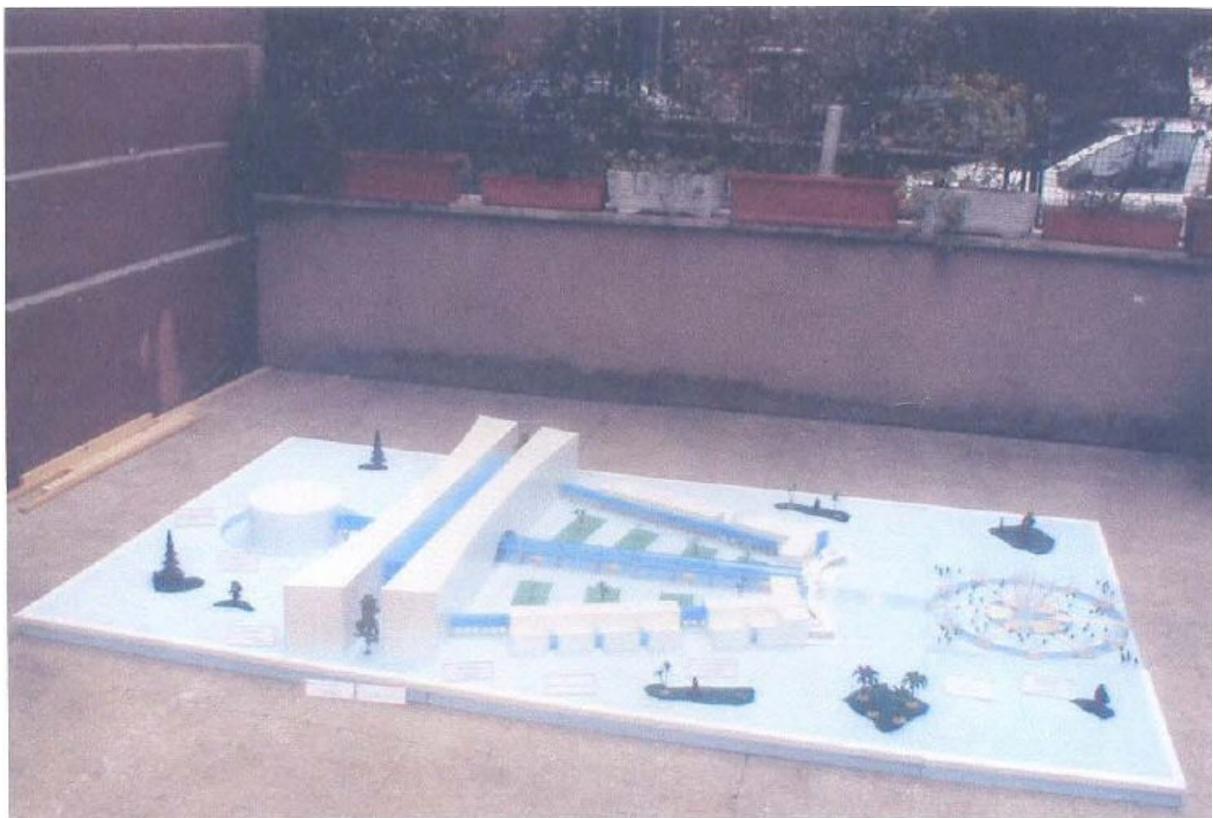
カトリック教

ゾロアスター教

ヒンズー教



計画のプラスチックモデル



RELIGION PAX

INTERNATIONAL ASSOCIATION

(RE. PAX)

2005年05月09日の会議

本日19:30にローマ会計院の司法官部で下協議が行われた、そのテーマは世界平和のために恒久的な宗教の会議センター（即ち国際的な非営利団体RE. PAX Religion Pax 協会）の計画でございました。

議題：

- 1) 就任演説と挨拶。
- 2) 計画の略解。
- 3) 憲章の目的。
- 4) 協会の憲法を書き記し分解し委員会が置られました。
- 5) 今年の六月六日に設立された協会の成就。
- 6) その他。

開催式に参会した次の重要な人物：会計院の裁判官とクラブの会長マリア・エレナ・ラソ学士、控訴院判事

ジョバンニ・パラッジ学士、” Mater Vitae et Veritatis” Libera

Universitas (自由な大学) の学部長会議の教授会の会長クリシティアン・マリー・チャルロット神父、” コーラン文化教会” の会長イマーム・アリ・サレーム・モハーメド・サレーム、公証人ジャコモ・ラウローラ学士、ローマ町議会議員ファビオ・デリーロ閣下、ステファノ・デ・カロリス弁議士、リッカルド・デ・サンクティス学士、チェレスティノ・グラッシィ工学士、フランコ・アルザノ工学士、アントニオ・ディ・カルロ学士、コッラド・トッチ学士、ジョスエ・ノタリ教授、クラウディオ・スパルヴィエリ弁議士、アルベルト・ヴァッカ士、マウリジョ・レッチェ工学士、ジャンニ・マリノ・レフィチェ学士。

Religion Pax RE. PAX協会の会長と言うニコリノタミリア教授は事務員としてテレサ・トマシィと呼ばれし、皆様に敬礼して、出席する人々に参加を感謝します。

質疑の最中に計画史を説明し、重要な人物の連絡した名簿を作成し（例えばハーマド大回教寺院のイマーム・シュウェイタ・マーモウド、ラビ長リッカルド・ディセーニ学士、ユダヤ人社会の会長レオネ・パッセルマン学士、グレゴリウス教皇的な大学の学部長ダニエル・ア・マディガン神父）、最高の官権と教権への連絡、その肯定的な実証的な返事、ラビ長リッカルド・ディセーニ学士に引き受けたチェサレ・モスカティとイマーム・アリ・サレーム・モハーメド・サレームとクリシティアン・チャルロット神父との会議を例示し、出席者に非営利団体の憲法の写しと遂行した仕事の論証として文書のパンフレットを備えました。

非営利団体の人道支援と異宗教間の対話へ指導された目的の読書を続けていた。この異宗教間の対話は同時に  
ヴォイティワ教皇の願い事とベネディクト十六世の教皇的な計画に載っています。他の非営利団体の目的には、  
難事業が良く気付いて、世界平和を強化しのために、歴史の知識と旧例の守りへの若者の勉強と教育を加えます。  
創意は異宗教間の対話の世界本部がない場合に基づいて、国連のように平和的に民主的にもっともう大切な国際紛争を討論する。

この欠点を補うために会長は非営利団体、自分の人道主義の活動を遂行し、多面的な本部をあげると思って、異宗教間の対話を容易し、今のところだいていの場合には双務的な対話で、共同の文化的な兵站な記念的な支援を造って、この計画を力説した。次の重要な所はこの計画に含まれている：

- 1) 平和神殿：共通記念のエリアに内接した、その真中に平和泉は諸宗教の表象で表現された、全く相互様敬して。
- 2) 大学の学室：そこに各宗教は自分の歴史と伝統的な博愛主義の科目が伝えられます。
- 3) 図書館、校長の地位、事務所、後方支援として部屋。
- 4) 集会所付きの代理権。
- 5) 特設会場のみ平和宗教会の本部（略 R E . C O . P A X）と言う円形的な会館。  
その会館で、冷静な建設的な対比のお陰で、すべての異宗教間を論じて、不信と違いを解約し、  
妥協点を見出し、緊張緩和を得り、領土と経済問題に取込み、開戦を妨げ、自

分の宗教の同分母で平和を迫り、  
一視同仁を求めると固める。

この建築の設置はどちらの適当な所で満場一致で全ての宗教から選べられる。

その後は会長次のを目立たせました：シチリア州とラシオ州の連絡した数々の町政（トラパニ県のマッザラ・デル・ヴァーロ市とカンポベーロ・ディ・マッザラ市、ローマ県のヴァル・モンテネ市）は計画を実現しに経済的な後方支援

上げられると公言しました。この支援は状大な建築に必要な敷地の贈与を含めました。

建築の実行と企画の経済支援は建築面積の市から敷地の可溶性と発費用ばかりでわなく国際連合と欧州連合から  
経済支援を得るもまたです、平和と文化的な人道的な意図のために最高国際機関から割り当てたのわけです。

この行動の進行には適当な事務所と専用の機関が必要です。

上書きは、非営利団体の創立後、すぐ動き始めて、そして計画の紹介と基金の注文が求められます。

その後、最高公権力との正式な連絡が始まります、その上、意見交換を発達しと深まりために非公式協議

もう始められる、それに加えて文化的な宗教的な問題を掘り下げるに若者向け計画と奨学資金が組織できるように  
なります。

報告の末に興味ある発言が相次いでです：デ・リーロ閣下はローマ県で生まれた色々な重要な企画を述べました。

チェレスティノ・グラッシィ工学士は会長を二年間で団体の創立と発行動ために運転費の経済計画を立てると  
頼んでいました。

ステファノ・デ・カロリス弁議士は準備を討議しと憲章を深まるために既に連絡された省庁に合わせると言い出しました。

終わり頃会話は一般化されました、助言と異議を集まって会長は、皆様の同意して、限られた委員会を創立し、即ち  
特別委、これに参加する会員はジャコモ・ラウローラ公証人、チェサレ・モスカティ・ラビ、その他の教権です。

この特別委の役割次のようです：

1) 非営利団体の憲章を作成する。

2) 事務局、報道官、広報官、ファイナンシャルプランニングと会議の予備の計画を整備する。

会長は、出席する皆様と考えが一致して、会を延期します。

会議の御仕舞いは20:30です。

会長： ニコリノ・タミリア  
レサ・トツマシィ

事務員： テ



05 / 09 / 2005で行われた会議のタミリア教授。



グラッシ工学士、イマーム・アリ・サレーム、チャルロット神父、タミリア教授、ラウロラ公証人。



イマーム・アリ・サレーム・モハーメド・サレームとニコリノ・タミリア教授。



ニコリノ・タミリア教授とクリシティアン・マリー・チャルロット神父。



イマーム\_・アリ・サレーム・モハーメド・サレームとチャルロット神父。



タミリア教授、モスカティ・ラビ、トッチ学士、イマーム・アリ・サレーム、チャルロット神父。



タミリア教授、ピエトロ・ジャコミ様とコスチュレ様、チャルロット神父、ノタリ学士、ディ・カルロ学士。



チャルロット神父、ノタリ学士、タミリア教授、ディ・カルロ学士。

カンポベーロ・ディ・マッザラ町議会

トラパニー県

内閣府

電話 0924-933228 ファクス 0924-47000 電子メ  
ール: uff.gabinettocbellom@tiscali.it

Prot. n. 031/Gab.

日付: 02/16/2005

Prof. Nicolino Tamilia

Religion Pax

住所: Piazza Irmerio, 67  
00165 Roma

表記: 世界平和のために恒久的な宗教の会議センター計画。

カンポベーロ・ディ・マッザラ市役所で市長、事務総長、翰長と市会議員の人  
前で行われた会議のおかげで、  
あなたが献じたセンターの計画は皆様に褒められました、同時にこの町議会は  
企画室と一生に適切な工事現場  
を突き詰めています。

御協力の御蔭でどもありがとうございます。

敬具。

市長 D. V. Mangiaracina

ヴァールモントネ市  
(ローマ県)

総務局、

住所：V i a N a z i o n a l e, 6 - 0 0 0 3 8

事務局

電話：0 6 / 9 5 9 9 0 1 / 2 1 8 / 2 2 5 - ファックス：0 6 / 9 5 9  
8 4 1 2

P. I V A : 0 1 0 6 8 1 0 1 0 0 0 3 - C. F. 0 2 5 1 2 3 3 0 5 8  
6

P r o t. 4 8 1 5

R e l i g i o n P a x

I n t e r n a t i o n a l A s s o c i a t i o n

R o m a

c. a. P r o f. D o t t. N i c o l i n o T a m i l i a

同感にこの町政は貴殿からの恒久世界宗教平和会議センターの要請を受理し  
ます、  
それからヴァールモントネ市で計画の具体性を勘合するために貴殿を招待し  
ます。

敬具。

ヴァールモントネ 0 3 / 0 8 / 2 0 0 5

市長：A n g e l o M i e l e